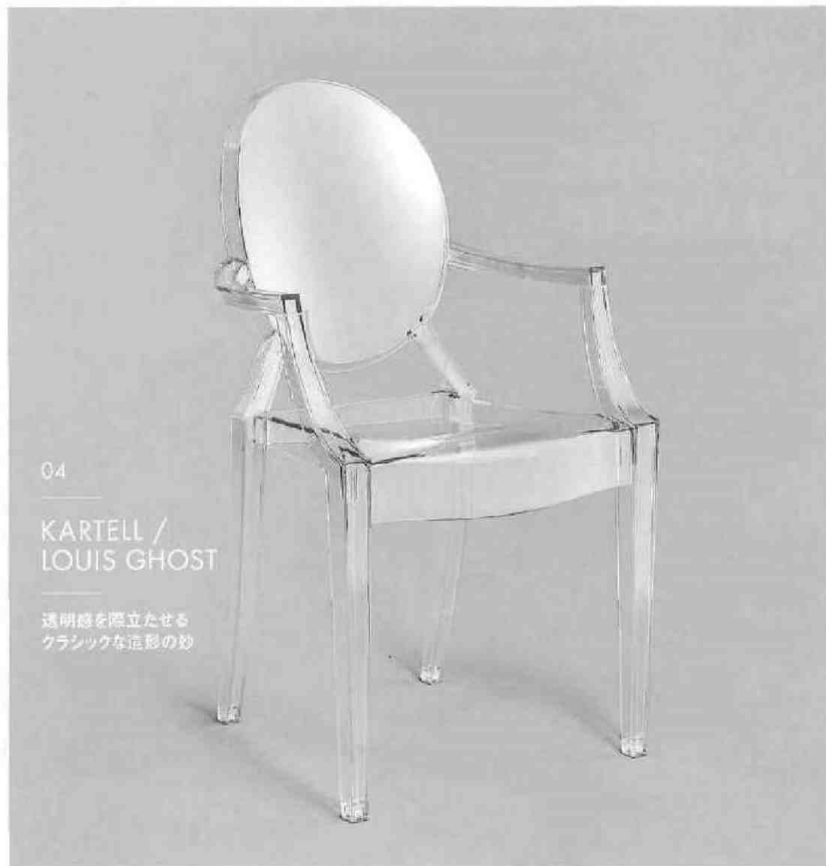


Innovative Products

革新の星の下に誕生し、今なお輝きを放つプロダクトを紹介する連載。
第4回はフィリップ・スタルクの名作椅子「ルイゴースト」。



04

KARTELL /
LOUIS GHOST

透明感を際立たせる
クラシックな造形の妙

透明な椅子は、20世紀半ばから存在した。しかしそれらは強度が十分でなかったり、高価だったり、または実験の域を出ないものだった。多くの人が日常的に使えるようになった最初の透明の椅子は、イタリアのカルテルがフィリップ・スタルクを起用して1999年に発表した「ラマリー」だろう。そして3年後、同じく両者が組んで完成させた、いっそう革新的なベストセラーが「ルイゴースト」だ。

素材は、ガラスに近いクリアさと高い強度を併せ持つポリカーボネート。ネジや接着材を用いない一体成形が可能で、透き通った姿はどこから見ても完

璧だ。また「ラマリー」がシンプルで小ぶりの椅子だったのに対し、「ルイゴースト」はルイ15世様式の装飾的エッセンスを取り入れた。クラシックな趣が素材の新鮮さを際立たせ、相互作用を生み出している。

加減によってはキッチンになりかねない組み合わせだが、それを洗練へと高めるのはスタルクならでは。そんな彼の個性と、常に素材を探究するカルテルの先進性が、この椅子で見事に一体となっている。

見た目の斬新さに加えて、椅子としての快適性もきわめて高い「ルイゴースト」。8脚までのスタッキングや屋外使用も可能というオールマイティな一冊だ。「ルイゴースト」¥67,000/カルテル東京

Photo HISAI KOSAYASHI Text TAKAHIRO TSUCHIDA